

3.11 祈りの日

2018年3月11日（日）

◎祈りの手紙朗読 17:30～ ◎鎮魂と供養の芸能と詩の奉納 19:00～
安洞院 本堂（福島市山口）

観覧無料（ドネーション・投銭制）・要事前申込[定員150名] ホームページまたはお電話にてご予約ください。



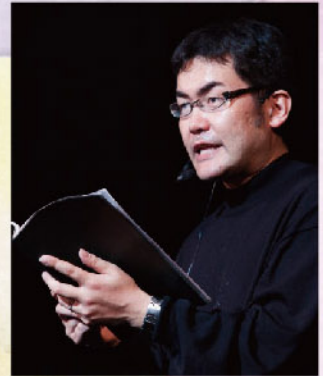
紺野美沙子（俳優）



塩高和之（琵琶奏者・作曲家）



横山俊顕（安洞院住職）



和合亮一（詩人）

オープニングトーク～祈りの手紙朗読 17:30～（開場17:00）

出演：紺野美沙子 塩高和之 横山俊顕

それぞれの3.11への思いを重ねながら語り合うトークと
今回公募した震災、未来、いのち、ふるさとをテーマとした手紙を紺野美沙子さんらが朗読する時間です。

鎮魂と供養の芸能と詩の奉納 19:00～

出演：塩高和之 紺野美沙子 和合亮一

祈りの手紙の朗読に続き、詩の朗読と琵琶の共演となります。
供養と鎮魂を願う演目が本堂仏前に奉納されます。

主催：未来の祀りふくしま実行委員会
共催：3.11 祈りの日実行委員会（安洞院内）
後援：福島県 福島市 福島市教育委員会
事務局：〒960-8068 福島県福島市太田町 27-21NPO 法人うつくしまランチ内

お問い合わせ・お申込みは
HP：<https://www.mirainomatsuri-fukushima.jp/cafe/>

TEL024-536-3103



あの日を忘れないための、震災慰霊のために作られた広場
祈りの広場



どなたでもご自由にご参列、ご焼香いただける慰霊法要です。
どうぞみなさまでお参りください。

東日本大震災 慰霊法要2018年3月11日（日）午後2時46分

◆安洞院しのぶ霊園内 祈りの広場 ◆参列無料

午後2時46分より供養塔前にて黙祷を捧げ、死者の冥福と
郷土の復興を祈る慰霊法要を行います。
ご参列皆様よりご焼香を賜ります。

主催 3.11祈りの日実行委員会（安洞院内）<http://antouin.com/>





紺野美沙子 (俳優)

東京生まれ。1980年、慶応義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」(原作・谷崎潤一郎)では三女・雪子役を好演。硬軟を問わず意欲的に舞台に取り組んでいる。1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・パレスチナ他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。2010年秋から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスを全国各地で公演している。また、震災翌年より東北応援として被災各県にて朗読座の公演を行っている。祖父は福島県出身。



塩高和之 (琵琶奏者・作曲家)

古典曲から新作まで作曲・演奏の両面に於いて国内外で活動を展開。シルクロードの各国、ヨーロッパ各国に於いて演奏会の他、ロンドンシティー大学、ストックホルム大学等で特別講座を担当。国内では、日々の演奏活動と平行して、様々な琵琶楽を紹介すべく琵琶楽人倶楽部、日本橋富沢町楽藝会を設立。主催代表として毎月開催している。薩摩琵琶・楽琵琶の両面でCDの発表、演奏活動を展開している唯一の演奏家である。現在までに8枚のCDと1枚の教則DVDを発表。静岡県出身。昨年、安洞院本堂にて奉納された戯曲『良寛』では、琵琶と語りを担当した。
塩高和之オフィシャルサイト <http://biwa-shiotaka.com/>



横山俊顕 (安洞院住職)

1979年福島市生まれ。曹洞宗安洞院17世住職。定期的に開催される文化芸能、心身を調えるための食や坐禅・ヨガイベントの収益は、東日本大震災で親を失った遺児・孤児のための福島県の基金「東日本大震災ふくしま子ども寄付金」へ寄付している。平成27年10月に住職就任後より、3月11日に毎年行われてきた慰霊法要に合わせ、鎮魂と供養の芸能の奉納を企画。平成28年には創作能『中尊』(観世流能楽師・中野宣夫作)、平成29年には戯曲『良寛』(哲学者・和久内明作)が仏前に奉納された。昨年の震災7回忌には境内祈りの広場に詩人・和合亮一氏による鎮魂の詩碑を建立した。



和合亮一 (詩人)

1968年福島市生まれ。詩人。中原中也賞、晩翠賞、みんゆう県民大賞、NHK東北文化賞など。東日本大震災の直後からツイッター上で「詩の隙」を発表し、反響を呼ぶ。詩集やエッセイ集、絵本などを多数刊行。「ついでソング」や「夜明けから日暮れまで」など合唱曲の作詞多数。現在、新聞や雑誌などの連載。ヨーロッパやアジアの数々のフェスティバルに日本を代表する詩人として招待。昨年の7月に仏語訳「詩の隙」がフランスにて第1回ニュク・レビュー・ポエトリー賞を受賞して話題を集めた。これまで何度も作品の朗読をしてきた安洞院は和合家の菩提寺であり、墓所には先祖代々が眠っている。

祈りの手紙朗読

テーマ:「震災」「未来」「いのち」「ふるさと」

手紙を募集しています

「震災」「未来」「いのち」「ふるさと」をテーマとした手紙を募集します。

安洞院本堂にて俳優の紺野美沙子さんが朗読いたします。

手紙の相手は、生きている人でも、亡くなった人でも、あるいは故郷でも、大切な動物でも。

皆様の想いに一人一人が耳を傾け、思いを分かち合い、

三月十一日の夜を共に過ごしてまいります。

2月28日
締切

【応募要項】

- 募集期間 平成30年2月28日(水) 当日消印有効
- テーマ ①震災②未来③いのち④ふるさと のいずれかをテーマとしたもの
- 体裁 400文字以内(郵送、FAX、メール 添付、HPフォームのいずれか)
- 撰者 和合亮一(詩人)
- 表彰 特に心に残る手紙は3.11当日に本堂仏前にて朗読させていただきます。
- 受賞 該当作品数点 賞状ならびに記念品贈呈

【記入事項】

- ①氏名 ②年齢 ③性別 ④メールアドレス(メールの方のみ) ⑤郵便番号
- ⑥住所(マンション名まで含む) ⑦手紙の相手は誰ですか? ⑧手紙のタイトル(なくても可) ⑨手紙文面(400文字以内) ⑩匿名希望の方はペンネーム

【送付先】

- ◆郵送 〒960-8202 福島市山口字寺前5 安洞院「祈りの手紙」係
- ◆メール tegami@311inori.net ※ワードファイル等で添付してください
- ◆FAX 024-533-6785

【諸注意】

- 応募作品は当ウェブサイトのコンテンツとして掲載します。また、今後の展示や冊子等の各種媒体に掲載される場合があります。応募の時点で内容の公表に同意したものとみなします。
- 未発表のものに限ります。過去に類似のものに応募された作品や、SNS等に公開されたものは応募できません。
- 応募された作品の著作権を含む著作権のすべては当実行委員会に帰属し、応募された作品は返却できません。
- 郵送の書式は問いません。葉書、手紙、原稿用紙、いずれでも結構です。
- メールの場合は本文・添付文書いずれかをお願いします(ワード、太郎等。その他ソフトはご相談ください)



特に心に残る手紙は俳優の紺野美沙子さんが本堂にて朗読させていただきます

